



NASUKARASUYAMA

議会だより

No.16
平成21年11月
2009



那須烏山市民運動会（10月11日）

- ◆ 議会の主な記事（9月定例会）… 2～3
- ◆ 一般質問 …………… 4～6
- ◆ 平成20年度決算審査 …………… 7
- ◆ 主な質疑 …………… 8～9
- ◆ 行政視察研修報告 …………… 10

- ◆ 平成20年度決算に基づく健全化比率が公表されました！ …………… 11
- ◆ 議会報告 …………… 11
- ◆ 議会の動き …………… 11
- ◆ 第1回子ども議会が開催されました！ …… 12
- ◆ あとがき …………… 12

9月定例会

会期11日間

平成20年度の決算を認定!!

一般会計

歳入 114億8,615万円
歳出 110億8,297万円

那須烏山市議会9月定例会は、8日に招集され、会期を11日間と定め、人事案2件、条例案3件、補正予算案7件及び決算認定2件の計14議案について審議しました。また、任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行い、9日及び11日には6名の議員が一般質問を行いました。

人事

○教育委員に塩野榮司氏と池澤進氏の任命に同意、人権擁護委員候補者に鈴木三男氏と平塚禮子氏を推薦同意

教育委員会委員の塩野榮司氏(三箇)と池澤進氏(旭一丁目)の任期が平成21年11月29日で満了することに伴い、引き続き両氏を同委員として任命することに同意しました。また、人権擁護委員の鈴木三男氏(南一丁目)と高野とみ子氏(谷浅見)の任期が平成21年12月31日で満了することに伴い、

生活体験自然体験事業「太巻き作り」



引き続き鈴木三男氏を再任し、また、新たに平塚禮子氏(興野)を同委員の候補者として、法務大臣に推薦することを決めました。

条例の制定及び一部改正

① 那須烏山市国民健康保険条例の一部改正

緊急少子化対策の一環として、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間、出産一時金を4万円引き上げるため、所要の改正をしました。

出産一時金はこれまで35万円でしたが、この改正により39万円となります。

② 那須烏山市遺児手当支給条例の一部改正

③ 那須烏山市保育所設置、管理及び保育料条例の一部改正

児童福祉法の一部を改正する法律が平成20年12月3日に公布され、家庭において養護が困難な状況にある子どもに対する支援強化が図られました。この法改正に伴い、条例中の用語を改める等の所要の改正をしました。

平成20年度決算認定

平成20年度の一般会計、8つの特別会計及び水道事業会計の決算が各常任委員会に付託、審査を経て、本会議において賛成多数により認定されました。(平成20年度決算の詳しい内容については「広報 那須烏山10月号」の6ページから7ページを、また常任委員会審査結果については、本紙7ページをご覧ください。)

平成21年度補正予算

平成21年度の一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、簡易水道事業特別会計及び水道事業会計の補正予算案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。今回補正された歳出の主な内容は次のとおりです。

- ・民間通信事業者では整備が見込めない条件不利地域である小本須川戸地区の携帯電話難視聴整備事業費を計上しました。
- ・平成24年度に予定されている固



定資産税評価替えに向け、課税客体の整備と用途地域等への路線価評価を導入し適正な課税を図るため、固定資産税課税客体整備事業費を計上しました。この事業は、今年度から3年間にわたり実施されます。

- ・緊急経済対策実施計画(第2次計画)として掲げた地元企業・商店街支援対策としてプレミアム商品券発行支援費を計上しました。

報告案件

・(財)那須烏山市農業公社の経営状況について

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき「財団法人那須烏山市農業公社」の経営状況に関する説明書が提出され、その報告がありました。

・平成20年度健全化判断比率及び資金不足比率について

本市の平成20年度健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果について、監査委員の審査を経た後、報告されました。また、本市における当該算定は適正に行われていること及び現段階においては是正改善を要する事項がないことも併せて報告されました。(詳しい内容については、本紙11ページをご覧ください。)

選挙

・選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

選挙管理委員会委員及び同補充員の任期が平成21年11月28日で満了することに伴う選挙が実施され、指名推薦により次のとおり選出されました。

選挙管理委員会委員

平石和雄氏(大桶)

長谷川靖男氏(月次)

飯野謙一氏(下川井)

佐竹信哉氏(神長)

同補充員

久郷啓次氏(高瀬)

柳田治男氏(小白井)

海野満也氏(旭二丁目)

池沢昌子氏(下境)



その他

・議員の辞職

松本勝栄議員から9月18日付けで議長あてに議員辞職願が提出され、本会議に諮った結果、辞職を許可することが決定されました。



一・般・質・問

質問・答弁の内容は要約してあります。

市長再選への心構えは



質問者 佐藤雄次郎 議員

(問) 大谷市長は二期目となる市長選に出馬することを表明したが、その政治姿勢と心構えを伺う。

◎市長 市総合計画「ひかり輝くまちづくりプラン」の着実な推進、経済危機、健康危機への適切な対応、地方分権改革の積極的な推進、この政策提言3本柱が二期目のまちづくりに向けた決意の証であり、課題克服の挑戦である。

米粉の活用について

(問) 前回の市長答弁では、学校給食への米粉の導入、ふれあい交流館(パン工房)での販売等も一策であるといわれたがその後の経過を

伺う。

◎市長 県において、平成21年度米生産調整事業の一環として米粉について、10アール当たり2万5千円の交付金がある。当管内に計画はないが今後農家への優遇策として、飼料用米と合わせて推進したい。パン工房における米粉の活用は調査研究中である。

交通安全対策について

(問) ①県道宇都宮烏山線の大里入り口交差点の信号機は点滅式であるため、以前から事故が多く運転に危険を感じる。安全策を伺う。
②こぶし台団地入り口は、県道からこぶし台団地、日

信工業を経て高根沢町に至る市道の起点である。信号機の設置について伺う。

◎市長 大里入り口交差点は5差路の変則交差点であり今後現在の点滅式から終日作動信号機を含め、感知式信号機についても警察署と協議したい。また、こぶし台団地入り口についても交通事故防止の観点から警察署に強く要望する。

自然休養村内の遊歩道の整備について

(問) こぶしの湯と区域内にある守山キャンプ場を結ぶ遊歩道は、荒れ放題の状態であり人の通行は勿論、造成された生活環境保全林子供達の研修の場も失われた。今後の整備を伺う。
◎市長 現地調査した結果、施設の補修は多大な経費を要するので当面の措置として遊歩道の草刈りを実施する。

緊急経済対策について



質問者 渡辺健寿 議員

(問) 2月に6対策24メニュー、7月に2次対策として(経済危機対策臨時交付金の活用) 10対策27メニューを計画したが進捗状況について伺う。

◎市長 20年度3月補正分21年度当初分共に95%の事業着手率となっている。尚2次計画については雇用対策、環境支援対策、子育て支援対策の3本柱を重点に事務作業を進めている。

公共投資臨時交付金の活用の考え方は。

◎市長 対象は国の補正予算に伴う追加公共事業に限られる。学校ICT環境整備事業、体育館への太陽光発電施設整備事業、難視聴対策事業など市負担分の9割が交付される見込みである。

る。使途は今後検討する。

(問) 烏中校舎の耐震補強工事については22年度夏休みに始まり翌年の夏休み中に終了したいとのことであるが極力工期の短縮を図りたい。(七合中の統合も2年間延期)

◎副市長 夏休みを利用して生徒に迷惑がかからないように計画したい。

健康増進対策の環境整備について

(問) 競技人口の多いグラウンドゴルフ場の考えは。
◎市長 現有運動場の活用をお願いし専用グラウンド要望については今後調査研究したい。
(問) ウォーキングをされる市民が多いので河川えん

堤を舗装し安全な健康管理に供されてはどうか。

◎市長 県や国交省など河川管理者との協議を進めてまいりたい。なお維持管理など地方の協力も必要なので呼びかけをすすめ前向きに検討する。

(問) ペットを飼う家庭が増えてきている。そこで人間と犬との相互扶助の意味も込めて公設又は民営のドッグラン設置の考えを伺う。

◎市長 運営を支えるボランティアの参加を前提とした十分な議論を行ない設置に向けた慎重な検討を進めたい。

5歳児相談と就学について



質問者 樋山隆四郎 議員

(問) 5歳児相談はどのように行っているのか伺う。

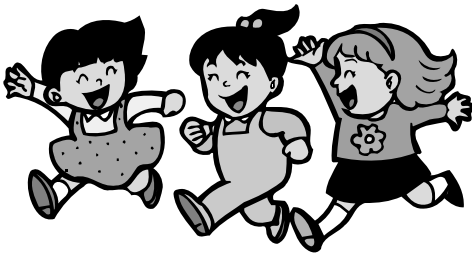
◎市長 5歳児相談は高機能自閉症等の発達障害を早期に発見し、適切な療育の提供や保護者の障害者受容、児童の不適応反応や二次的障害を予防する為のもので、心理判定員と子供発達支援センター保育士、保健師、言語聴覚士、学校教育課指導主事が幼稚園、保育園に出向き行動観察を実施している事業である。平成20年度において対象児童242名中232名が受診し、158名が経過観察となった。その中でも発達障害や支援が必要とされた児童が99名という結果となった。99名中65名の保護者と個別相談を実施したほか、必要に応

じて家庭訪問の実施や、医療機関受診勧奨、療育機関へつないでいる。

(問) 新1年生の約4割の児童が発達障害の疑いや支援が必要と診断された。発達障害は疑われないが落ち着きがない、言葉の指示が入りづらい、静かにすることができない子供がふえる傾向にある。市内のある小学校では授業が成り立たないと、悲鳴にも近い声が聞こえてくる。この問題は学校教育課、こども課、健康福祉課等が一丸となって解決しなければならぬ重大な問題であると考えますが市長の考えを伺う。

◎市長 本当にびっくりする結果である。5歳になってからの対応では遅い、0

歳児から乳幼児までの幼児教育、保育教育の充実。こども課と教育委員会との連携等によって、この重大問題を組織としてどう解決するか、具体的に計画、立案し制度化し問題解決に努めたい。必要な予算は来年度当初に計上する。



新型インフルエンザの対策は



質問者 平塚英教 議員

(問) 新型インフルエンザの流行感染で死亡者が発生し、国は本格流行を宣言、感染防止に本腰を入れるとしている。本市のこれまでに新型インフルエンザの発生状況と対策を伺いたい。

◎市長 新型インフルエンザ対策は国県の指導のもとに本市においても4月28日対策本部を設置し、幼稚園、保育園、小中学校を含め市民への周知と関係施設の感染予防品の整備、職員の研修と体制整備など、対策本部を9回開催して予防と感染拡大防止に努めてきた。ハイリスク者への予防周知をはじめ、学校や各種施設

での集団発生を予防する各種行動マニュアルを策定、関係部署が連携し、市民の感染防止策の徹底を進めている。8月31日に臨時校長会を開催し学校における新型インフルエンザ行動マニュアルを確認、公立保育園、幼稚園も独自のマニュアルを作成し、私立にも情報を提供し、対策を講じている。感染予防は各家庭の理解や協力が欠かせないので予防チラシの全戸配布、学校で児童生徒にも配布し、保護者への協力を求めている。

◎市長 現在、行政が設置する相談窓口は行政相談、人権相談、交通事故相談、消費生活相談の4つ。困りごと相談対策は引き続き各種相談窓口の充実、連携体制の強化を図り、利便性の向上に努めたい。議員ご指摘の相談窓口一元化は関係各課、関係機関と十分調整を図り、検討する。国の消費者庁の発足に伴い、本市も消費者問題の専門窓口、仮称消費者センターの翌年度設置を準備している

行政相談の窓口を市庁舎内に統一して解決に向けての仲介や関係行政機関への斡旋、紹介事業を実施されたい。国においては消費者の安全、安心を目的に消費者庁が発足し、市町村レベルで消費者の相談や苦情を受け付ける消費者センターの設置を求めている。本市でも消費者の相談窓口を設置して市民の困りごと相談も含めて不安解消を図られたい。

住みやすい地域づくりを願う



質問者 平山 進 議員

(問) 医療費無料化を中学3年生まで拡大する考えがあるのかを伺う。

◎市長 県内では12市町が実施予定の中、政権交代で財政対策が不透明である。しかし、子育て支援の最重要施策の一つとして所得制限を設けない意向で年内には方向性を示したい。

(問) 小中学校2km内の通学路安全対策について伺う。
◎市長 県では学校の直径2km範囲内の整備計画を推進している。市においても幼稚園や小中学校周辺歩道整備については計画を立て順次工事を進めている。問題の滝愛宕台線についても県砂防工事計画に合わせ早い時期に整備を図りたい。又、保護者や先生とも定期

的に通学路の点検を行っていく。

(問) 義務化された火災警報器設置向上について伺う。
◎市長 3月の消防団による設置調査では13・4%だった。今後は関係機関と連携し、秋季火災予防運動期間を利用しながら、特に独居世帯及び高齢者世帯については民生委員の協力を得ながら、市の給付事業等を活用し支援していきたい。

(問) 集落支援員制度を導入する考えがあるかを伺う。
◎市長 同制度は市民との協働により、集落の維持・活性化対策推進を図るとされている。集落対策に費やされた費用は特別交付税が設置され、全国では66市町村が導入している。導入に

ついては他自治体、先進事例等を十分に参考にしながら調査研究を進めていく。

(問) 納税の簡素化推進について伺う。
◎市長 9月より水道料金をコンビニ、ゆうちょ銀行で納付可能にした。軽自動車税については平成22年から実施し、他市税についても順次に口座振替制度の推進を図りながらコンビニでの納付導入を行っていく。



地域医療について



質問者 沼田 邦彦 議員

開設20年目を迎えた那須南病院の運営状況について

(問) 那須南病院とは、栃木県で唯一の全国でも一つか二つの数少ない健康と命を守る市民、住民の組合立

公的病院である。合併を機に特に外来患者数が激減し入院患者数も伸び悩み、病院経営が悪化し純損益(赤字)が激増している。市長、組合長としての責任は誰よりも重く重大であるが、この状況をどのように把握しているのか。
◎市長 当該病院の維持継続についてはいかなる手段を講じても守り抜く。改善策として平成21年3月に病院改革プランを策定し医業

収入の確保、コスト削減を行い安定経営に向け取り組んでいる。また、地方公営企業経営アドバイザー派遣事業を実施し助言、指導も受けている。

(問) この重大局面であえて地域医療を考えるならば七合診療所の存廃問題である。旧烏山町統合方針には「平成18年4月1日を基準に2年以内の廃止、跡地については開業医への貸付け等を行う」と答申されている。昭和26年開設以来、役割を十分果たしたのではないか。

◎市長 外来、救急医療体制の確立及び新型インフルエンザなどへの危機管理対策の2つの観点から市診療所の必要性を強く感じている。

国営塩那台地開発事業の明と暗について

(問) 昭和49年、夢と希望と期待をもって事業参加者1,335人、事業投資額160億円、事業期間20年を乗り越え今日に至っている。働けど働けど前に進むことのできない現実。60ヘクタールが耕作放棄地となっている。完償が遅れても滞納しても必ずしも参加者の100%責任とは思えない部分が多く同情できる救済すべき要因も多分にあると考えるが、市長の考えを伺う。

◎市長 現在765戸の農家が受益者となっている。土壌改良、苗木補助、野鳥ネット、防霜ファンの設置補助融資関係、畜産整備事業、飼料畑の整備等を行ってきた。

平成20年度 決算審査

平成20年度一般会計、8特別会計、水道事業会計の当初予算については、各常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会での審査中に出された意見を要約したものを掲載します。



南那須地区小学生陸上大会予選会

総務企画常任委員会

◎所管する課等

総合政策課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

◎審査事項

所管する課等の一般会計の歳入歳出決算

○市有財産については、積極的な整理統合を図り、特に学校跡地の処分も含めた有効活用を計画的に確実に執行していただきたい。

○市税等については、更なる収納体制強化を図り、収納率の向上に努めていただきたい。

文教福祉常任委員会

◎所管する課等

市民課、健康福祉課、こども課及び教育委員会（学校教育課及び生涯学習課）

◎審査事項

所管する課等の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算

○障害者福祉タクシー事業及び高

経済建設常任委員会

◎所管する課等

農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

◎審査事項

所管する課等の一般会計、特別会計及び企業会計の歳入歳出決算

○下水道事業については、加入率の向上につながる成果が見られない。事業計画の見直しを検討し、早急な対応策が図られるようお願いしたい。

○市営住宅については、定住人口の増加につながるような方策を検討していただきたい。

○指定管理者については、事業計画に基づいた事業がなされているのか成果が見られない。モニタリングの調査結果を踏まえて、指定管理者制度の有効活用が図られるようお願いしたい。



○サタデースクールの実態について調査・研究をし、更なる改善に努められたい。

○国民健康保険特別会計の健全な運営のため、国民健康保険税の収納率の向上に努められたい。



主な質疑

9月定例会

ここでは、市長が提出した議案の審議の中で、議員の質疑の中から主なものを要約して掲載します。



南那須歴史民俗資料館

平成20年度決算関係

議員 法人市民税の決算額が平成20年度2億3,400万円、平成19年度は3億600万円あったが、昨今の経済不況のもとで平成21年度の見込みは。

答弁 平成21年度の法人市民税の見込みである8月末現在の収納状況は8,860万円である。当初予算は2億1,340万円であるが、年度末では景気後退により2億円ぎりぎりかと考えている。

議員 南那須歴史民俗資料館と烏山郷土資料館の維持管理費281万7千円、警備費として59万9千円支出しているがそれぞれの入館者数を伺いたい。また、今度、両施設を統合すべきと考えるが。

答弁 南那須資料館が560名、烏山資料館が70名である。両施設が統合できれば進めたいというのが市の考え方で、資料は展示するものと保存するものを分けて検討して行きたい。

議員 固定資産税の滞納繰越金が10億円を超えている。これは特定法人の滞納繰越金と考えるが解決に向けた対策は。

答弁 大口滞納者の不納欠損につ

いては解決に向けた対策を昨年議会全協で説明し、不納欠損処分する方向で進めていると申し上げたが、現在、当事者間で裁判になっており、推移を見守りながら県収納対策室、県税事務所、市の共同で検討し、今年度中には解決に向けた方策を進めたい。

議員 下水道の水洗化率は興野農業集落排水、南那須水処理センターとも80%を越えているが、烏山水処理センターは26%台と低迷している。下水道の普及は全庁体制で取り組んでいただきたい。

答弁 南那須処理区と烏山処理区の加入金設定方式が違うのが要因と考えられる。両町合併直後の事務調整でも問題になったができれば南那須方式を採用して一元化できないか検討しているが住民の皆さんが加入しやすい環境づくりを前向きに検討させていただきます。

議員 ベンチャープラザ烏山施設運営事業費補助金150万円の内容は。

答弁 ベンチャープラザの補助金について、当初は県と市で出していたが、平成20年度は市の150万円だけである。入居者が

らの負担金を含め収入の合計が489万円を商工会がベンチャープラザ運営費として支出している。



ベンチャープラザ那須烏山

議員 監査委員から指定管理者制度で将来にわたって負の遺産を残すものは続けるべきではないとあったが、宇都宮市は指定管理している施設を点数で評価している。本市も年に1回程度評価制度を導入すべきだ。

答弁 宇都宮市で指定管理評価をしている件は承知しているが、どのような内容で評価しているか資料を取り寄せて研究したい。市の行政も年に1度事業実績、決算報告しており、指定管理の

指定時の計画に沿って運営されているか管理者に指導・監督するのは当然、年2度はやって行きたい。

議員 A L T事業の内容は。

答弁 平成20年度からの英語特区英語コミュニケーション科は小さいうちから英語に親しみ、外国人とコミュニケーション能力を身につける思いから実施しているもので、平成23年度からは小5・小6の授業に移行されるが本市はスムーズにいくと考えている。

議員 市のホームページ32万件のアクセスとあるがその内容は。

答弁 アクセス件数は月ごとの積み上げてつかめるがその内容分析はできていないのが現実だ。ホームページのリニューアルを考えており部分的把握ができるか検討したい。

議員 平成20年度の職員研修は接遇研修がわずか一名であるが、住民から親しまれ信頼される窓口づくりの目的が実現できるのか。

答弁 職員研修はほかに行って研修を受けるのと仕事をやりながら研修するものがあるが、接遇については仕事を行いながら接遇が向上することがふさわしい



南那須学校給食センター

と考え毎回毎回、啓発は行っているが十分とは考えていない。粘り強く毎日のあいさつや毎朝の打ち合わせから仕事の中で接遇向上に努めてまいりたい。

議員 情報ネットワーク整備事業1億2,000万円計上しているが具体的効果がどのように上り、子供たちの学習能力向上に役立っているか。

答弁 今回一機種を入れたことにより、どの学校でも同じシステムで統一した授業になった。また、情報管理も徹底されたことも大きな効果と考えられている。

議員 学校給食費の滞納が増額している理由は。

答弁 今般の経済悪化の影響とモラルの低下も要因もと考えており、事務局として対策を検討している。

議員 不登校児童生徒の状況と対策をどのように行っているか。

答弁 平成10年度は小中学校合わせて40名ほどあったが平成20年度は31名に。各学校と関係機関の連携努力により若干少なくなっているが対策としては学校、教育委員会、スクールカウンセラーなど教育機関、こども課、児童相談所、レインボーハウスなど関係機関がよりいっそうの連携を図っていききたい。

平成21年度補正予算関係

議員 債務負担行為で3年間かけて支出する固定資産税客体整備業務委託費8,900万円の内容は。

答弁 昨年、土地の現況課税の誤りがあり、次回の評価替えに合わせ、市全体の航空写真を撮影し、3年計画で全地目の実地調査、現地調査をして課税客体を整備するものである。

議員 賦課徴収費2,988万円の内容を伺いたい。

答弁 平成24年度の土地評価替えに伴い、固定資産税の課税客体の整備徴収で航空写真撮影、価格評価システムのレンタル料などである。

議員 不動産売却収入635万3千円の内容は。

答弁 東宇都宮カントリークラブの入口反対側だが道路整備で買収した際、土羽用地として余分に買取っていたが地権者から隣接地に福祉施設を造設したいとの話があり、内部で検討した結果、買取した土地を地権者に買戻してもらった金額である。

議員 合併市町村補助金3,550万円計上しているが、これは継続して交付されるのか伺いたい。

答弁 合併補助金は国からのもので限度額が3億円で合併後10年間で受けられるもの。既に平成18年に1億8,000万円、平成19年に1,800万円受けており、今回3,550万円申請

してこの補助金を受けられるものである。3億円の残り6,650万円は平成22年度以降申請して交付を受ける考えである。

議員 土地の売り払い関係の収入市道用地として買取したものを売り戻す土地の件であるが、地目はどうなっているか。

答弁 土羽として買取した土地は3筆でその1筆は農地だったが地目変更して3筆とも雑地となり、もとの地権者に売り払うことで準備を進めているところである。



拡幅工事が進む市道鴻野山小倉線

市民とすすめる「協働のまちづくり」

「自立再生をめざして」

総務企画常任委員会

総務企画常任委員会は、委員5名で、平成21年8月18日（火）「行財政改革」と「協働によるまちづくり」について調査研修のため、山形県上山市役所に行って視察研修をしてまいりました。その概要を報告いたします。

財政構造の改革を図るとともに、給与削減等の臨時的な措置により23億円の財政不足の解消に取り組み達成することができた。

『協働によるまちづくり』

上山市の行財政改革は、市民との協働で持続的な発展を目指して「まちづくり」を推進している。

これは市民と行政が相互の役割を自覚・分担し、地域の自主性・自立性をさらに高め、また同時に地域の連帯を育み、地域自治体制を整備するのを目的としている。

最初に取り組んだのが「上山市まちづくりセンター」の開設である。当初は市役所内にあったが、

市民参加システムづくりで場所を市街地に移し、まちづくりのためであれば誰でも利用しやすい設備として、ボランティア団体が主体となり、家屋を改装して完成させた。現在、

①市民のまちづくり活動の拠点

②まちづくり団体の情報提供、発信
③まちづくり団体の育成・支援窓口として多くの市民団体が利用している。

研修を終えて

上山市は全国でも珍しい城下町、宿場町、温泉町の観光地であり、昨年アメリカ、アカデミー賞受賞の映画「おくりびと」のロケ地としても有名になった。

市では、ボランティア団体やNPOの育成を支援し、これらの資源を地域の宝として、まちづくり団体等は資源別にそれぞれテーマを決め、地域の活性化を図っており、現在23団体が活発に活動している。テーマとしては「自然&歴史」にこだわった地域づくり、

「緑豊かな里山」を舞台にした地域づくり、「果樹木」にこだわった地域づくり、「そば」にこだわった地域づくり、武家屋敷通り整備に伴う地域づくり、「ゆかた」の似合うまちづくりなど、それぞれのグループは「上山らしさ」にこだわって、活動を展開中であると同った。那須烏山市も、自然と文化と歴史においては、どこにも負けないまちである。今もさまざまな団体がまちづくりに取り組んでおり、やがてこの市も訪れる人が徐々に増えてくるものと確信している。今回研修調査した上山市のまちづくりは、幾つか参考になったが、特に印象に残ったのが、市民の誰もがまちづくりのためであれば、いつでも自由に使うことができる「まちづくりセンター」の設置である。この施設の平均利用者は18・5人/日、会議平均利用回数は16回/日、会議平均利用人数115・4人/月、となっている。

まちづくりのことであれば誰でも、いつでも気軽に利用することができる。このような「センター」は那須烏山市でも是非開設したい施設だと思う。

総務企画常任委員会

委員長 野木 勝



『行財政改革』
5年間で23億円の財政不足を解消

平成16年度の国の三位一体の改革の影響により地方交付税等の大幅な削減となったこと、また職員給与等の人件費、借入金返済金である公債費の歳出に占める割合が高く財政構造が硬直化している

ことから、これらを改善するために、平成17年度から平成21年度までの5年間で、職員数の削減をはじめ内部管理費の徹底的な削減に努めるほか、市債発行（借入金）の抑制等を行い、



平成20年度決算に基づく 健全化判断比率が公表されました!

平成20年度決算に基づく健全化判断比率の算定結果が監査委員の審査を経て、9月定例会において報告されました。また、この算定については適正にされていることと、現段階においては是正改善を要する事項がないことも併せて報告されました。

●平成20年度決算に基づく健全化判断比率 単位：%

| 指標の種類 | 那須烏山市 | | 県内市平均 | | 早期健全化基準 | |
|---------|----------|------|-------|------|-----------------|-------|
| | H19 | H20 | H19 | H20 | | |
| 健全化判断比率 | 実質赤字比率 | - | - | - | 13.8 | |
| | 連結実質赤字比率 | - | - | - | 18.8 | |
| | 実質公債比率 | 15.6 | 14.5 | 12.3 | 12.0 | 25.0 |
| | 将来負担比率 | 68.2 | 76.3 | 76.1 | 72.2 | 350.0 |
| 資金不足比率 | - | - | - | - | 経営健全化基準 20.0 | |

健全化判断比率………
早期健全化基準の数値を上回った場合、早期健全化計画等を策定しなければなりません。

資金不足比率………
経営健全化基準の数値を上回った場合、経営健全化計画を策定しなければなりません。

(県内市平均の数値は、栃木県総合政策部市町村課「平成20年度決算に基づく健全化判断比率等の概要について」より抜粋)

注：「-」は、赤字又は資金不足を生じていないため、当該数値について該当がないことを示しています。

議会報告

第5回臨時会

国の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」により市予算を補正

第5回臨時会が平成21年7月14日に開会されました。この臨時会では

- ①平成21年度那須烏山市一般会計補正予算(第2号)
 - ②平成21年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
 - ③平成21年度那須烏山市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- の計3議案が上程され、全て原案のとおり承認及び可決されました。

第7回臨時会

烏山小学校体育館を改築

第7回臨時会が平成21年10月20日に開会されました。この臨時会では「烏山小学校体育館改築工事請負契約の締結」が上程され、原案のとおり可決されました。

この改築される体育館の工事請負契約額は、3億3,600万円です。平成22年7月に完成予定となっています。現在の体育館は、新体育館完成後、解体されます。

議会の動き

平成21年8月

10日 議会だより第15号発行
18日 総務企画常任委員会視察研修(19日まで)

9月

1日 議会運営委員会
8日 議員全員協議会
第6回定例会(18日まで)

10月

14日 常任委員会
15日 文教福祉常任委員会
18日 議員全員協議会
議会広報委員会

10月

14日 宮崎県小林市議会行政視察
14日 文教福祉常任委員会視察研修(15日まで)

10月

16日 議会広報委員会
20日 議会運営委員会
第7回臨時会
議員全員協議会

10月

22日 議会広報委員会
28日 千葉県流山市議会行政視察来庁

第1回子ども議会が開催されました！

第1回子ども議会が去る8月11日に那須烏山市役所南那須庁舎議場で開催されました。子ども議会では市内の小中学生20人が参加し、2人は議長として議事を進行し、18人は議員として子どもの目線から見た市政に対する質問を真剣に行っていました。



あ
と
が
き

鳩山新内閣が三党連立で発足した。

歴史的な政権交代だが、その高揚感に浸っている余裕はない。新政権が取り組むべき課題は山積している。何を継続し何を変えるのか、従来の枠にとらわれない政策を提示し、着実に実行することだ。国民のためにならない矛盾が生じたときは改めるべきであろう。政権が変わろうが変るまいが、常に平和と幸福をと思う気持ちは、変りようのない国民無限の願いである。

「ふるきをたずねてあたらしきをしたらば、もってしたるべし。」という孔子の教えがあるが、本市も先人達が築いた偉大な財産を継承しつつ、新しい変革とのバランスをかみ合わせ、われわれ議員も更に市民の目線で諸問題に取り組まなければならない。

(佐藤「昇」記)



No.16

発行 那須烏山市議会
編集 那須烏山市議会
広報委員会
事務局
☎0287-88-7114

次回の定例会は 12月1日(火)開会です

議会を傍聴してみませんか。市民として市政を知る最も良い方法です。くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。